

## 犬の脈管開存症手術のための新しい器具の考案

佐藤 隆<sup>1)</sup> 鷺巣 誠<sup>2)†</sup> 鳥巢至道<sup>3)</sup> 池上 裕<sup>4)</sup>  
溝口五常<sup>5)</sup> 須崎孝次<sup>6)</sup>

- 1) 兵庫県 開業 (さとう動物病院：〒661-0035 尼崎市武庫之荘5-27-20)
- 2) 岐阜大学動物病院 (〒501-1193 岐阜市柳戸1-1)
- 3) 宮崎大学農学部附属動物病院 (〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1)
- 4) 兵庫県 開業 (あい動物病院：〒661-0033 尼崎市南武庫之荘2-22-7)
- 5) 兵庫県 開業 (溝口動物病院：〒660-0881 尼崎市昭和通8-268-3-102)
- 6) 兵庫県 開業 (タージャー・アニマル・ホスピタル：〒661-0953 尼崎市東園田町1-351-2)

(2009年3月26日受付・2009年5月14日受理)

### 要 約

犬の動脈管開存症の閉鎖手術における動脈管の剝離操作をより安全かつ簡便に実施するために新たに考案したフックは、動脈管剝離の際に周囲の組織に損傷を与えにくいので動脈管を安全に確保できる。フックの形状は肉厚かつ滑らかな円形とした先端を持ち、その中心に糸を通す穴を開けたものである。著者らは本フックを用いて5例の犬の動脈管開存症の動脈管剝離を安全に実施することができた。——キーワード：動脈管開存症，手術，新型器具。

----- 日獣会誌 62, 807～809 (2009)

---

† 連絡責任者：鷺巣 誠 (岐阜大学動物病院)

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

☎058-293-2962 FAX 058-293-2964 E-mail : washizu@gifu-u.ac.jp